

2022 環境経営レポート



対象期間:2022 年1月1日～12 月 31 日

発行日:2023 年6月 30 日

 **松山株式会社**



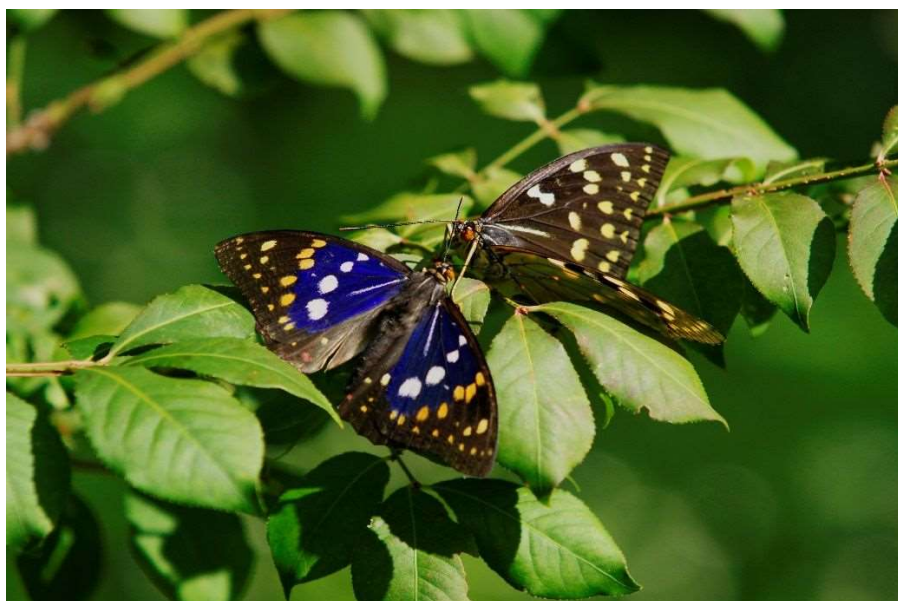
目次

(1) 理念	p.1
(2) 組織の概要	p.2
(3) 対象範囲	p.2
(4) EA21 推進体制	p.3
(5) 環境経営方針	p.4～5
(6) 2022 年度 環境経営目標	p.6
(7) 2022 年度 環境経営計画	p.6
(8) 2022 年度 環境経営活動の内容と取組結果の評価(本社工場)	p.7～11
(9) 2022 年度 環境負荷実績	p.12～14
(10) 2022 年度 環境経営目標	p.15
(11) 2022 年度 環境経営計画	p.16
(12) 2022 年度 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	p.16
(13) 2022 年度 環境活動報告(営業所、出張所、物流センター)	p.17～26
(14) 代表者による全体の評価と見直し・指示	p.27

(1) 理念

21世紀は環境と食の世紀といわれています。農業は環境と食を守る旗手です。農業を通して、美しい郷土、きれいな日本、そして地球環境保全に努め、循環型社会形成のために貢献することが松山株式会社の使命です。

国蝶「オオムラサキ」の生息している、美しい自然を保護し、地域、長野県、日本、地球規模で求められている環境対策に貢献します。



(2) 組織の概要

(2022 年末時点)

① 事業者名および代表者名

松山株式会社 代表取締役社長 松山 信久

② 所在地

本 社 長野県上田市塩川 5155
物流センター 長野県上田市塩川 2949
北海道営業所 北海道岩見沢市栗沢町由良 194-5
旭川出張所 北海道旭川市永山北1条8丁目 32
帯広出張所 北海道河西郡芽室町東芽室北1線 18 番 10
東北営業所 宮城県大崎市古川清水3丁目石田 24 番 11
関東営業所 栃木県栃木市大平町横堀みずほ5-3
長野営業所 長野県上田市塩川 2949
岡山営業所 岡山県津山市綾部 1764-2
九州営業所 熊本県宇土市松山町 1134-10
南九州出張所 宮崎県都城市甲斐元町 3389-1

③ 事業の概要

農業機械の開発、設計、製造、販売

④ 事業の規模

売上高 215 億円
全従業員数 336 名 (認証対象)
本社工場延べ床面積 23,514 m²
北海道営業所 1,797 m²、旭川出張所 969 m²、帯広出張所 511 m²、
東北営業所 4,433 m²、関東営業所 4,396 m²、長野営業所・物流センター 9,620 m²、
岡山営業所 600 m²、九州営業所 4,156 m²、南九州出張所 897 m²

⑤ 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

責任者 総務部 大池 賢治
担当者 総務部総務課 小林 晋也
山崎 裕介

連絡先 TEL 0268-42-7500

FAX 0268-42-7520

(3) 対象範囲

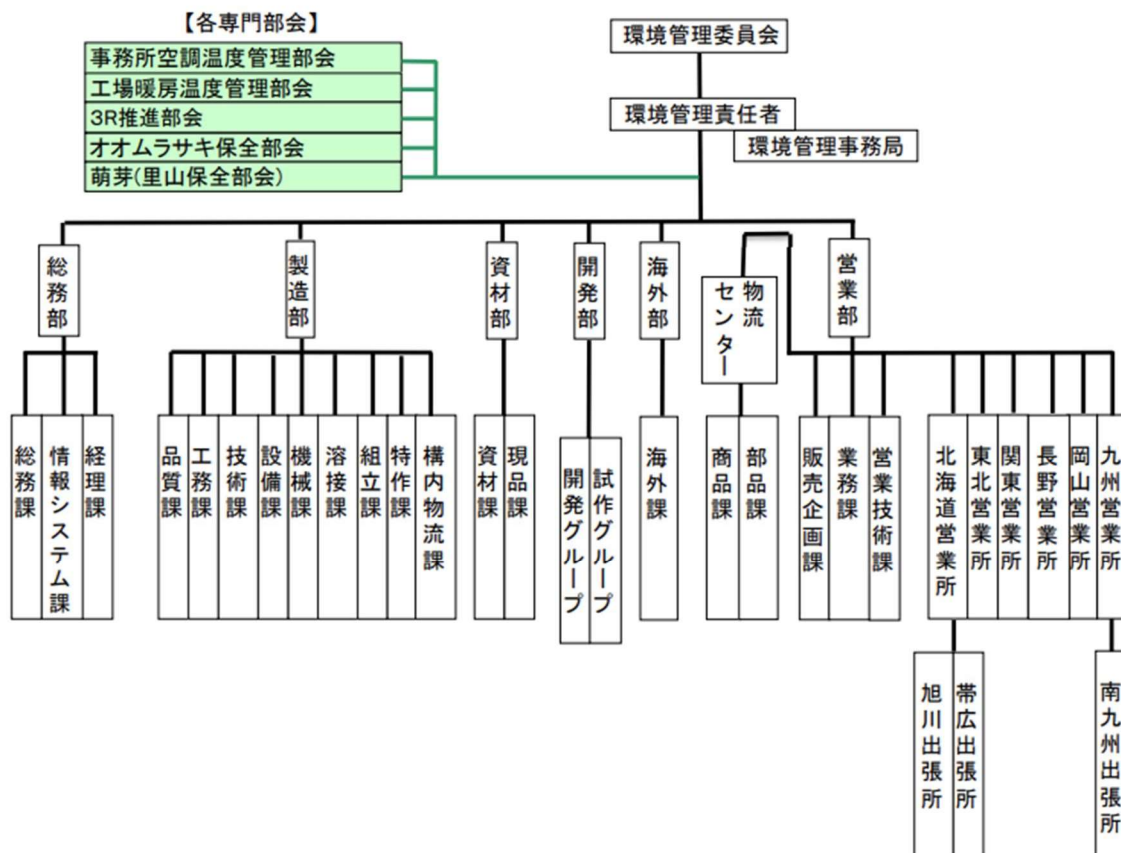
① 対象組織 本社工場、全営業所、全出張所、物流センター(全組織)

② レポートの対象期間 2022 年 1月1日～2022 年 12 月 31 日

③ 発行日:2023 年6月 30 日

(4) EA21 推進体制

EA21環境活動組織図



環境管理委員会

委員長	代表取締役社長	松山 信久
副委員長	取締役総務部長	大池 賢治

事務局	総務副部長	清水 信男
	総務課長	中澤 明義
	総務課主任	小林 晋也
	総務課	山崎 裕介

統括	常務取締役	村山 生夫
総務部	取締役総務部長	大池 賢治
製造部	取締役製造部長	徳武 雅彦
資材部	取締役資材部長	田中 計宏
開発部	取締役開発部長	池田 俊朗
海外部	取締役海外部長	太田 誠
営業部	取締役営業部長	上野 功

環境管理委員会専門部会

部会名	事務所空調温度管理部会	
部会長	総務課長	中澤 明義
部会名	工場暖房温度管理部会	
部会長	溶接課長	池野 恒男
部会名	3R 推進部会	
部会長	現品課課長補佐	瀧澤 政和

部会名	オオムラサキ保全部会	
部会長	組立課	山浦 淳一
部会名	萌芽(里山保全部会)	
部会長	構内物流課係長	竹内 健二

(5) 環境経営方針

■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。

資源の有効活用・環境負荷の軽減・低燃費・減肥料栽培体系など、環境にやさしい農業を支援する作業機を開発します。

■地球温暖化を防ぐための施策をおこないます。

電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油の使用量を削減し、二酸化炭素の排出を抑制し、省エネルギーに努めます。

太陽光発電システムで発電した電力を最大限自家消費し、電力の購入を削減します。

製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。

雨水の活用を図り、上水道の使用量を削減します。

■リサイクルや使用抑制を図り、限りある資源を大切に使います。

紙の分別をおこない、再資源化を図ります。

再生紙の使用を徹底します。

紙の使用量を削減します。

鉄枠を再利用し、木材の梱包を削減します。

■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。

■グリーン購入を進めます。

■広大な社有林の管理に努めます・・・自然にやさしく接します。

除草剤や農薬の使用場所を限定し、社有林内では使いません。

間伐・植樹を計画的におこない、遊歩道を整備し里山を地域に開放します。

松くい虫の被害を環境にやさしい施策「樹幹注入」で食い止め、後世に赤松林を残します。

「オオムラサキ」の保護をおこない、観察会等を実施し地域と共有します。

■法を守ります。

環境関連法規や地域条例を遵守し、地域社会の環境保全に寄与します。

■化学物質を適正に管理します。

■持続可能な社会を実現するため、SDGsの目標達成を目指します。

松山株式会社は、以上の方針に基づいて社員全員で活動します。

2022年1月1日改訂

2004年11月15日制定

松山株式会社

代表取締役社長 松山 信久

改訂履歴

- 2007年1月1日 ■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。…追加
■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。…追加
- 2008年1月1日 ■グリーン購入を進めます。…追加
- 2011年1月1日 ■化学物質を適正に管理します。…追加
- 2012年1月1日 製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。…追加
- 2013年1月1日 制定者の社名から“本社工場”を削除した。
- 2015年1月1日 “古着・古毛布と集め、再利用します。”を削除した。
- 2018年1月1日 エコアクション 21 ガイドライン改訂に伴い、名称を変更。
- 2019年1月1日 環境経営方針の項目を実績と統一した。
- 2020年1月1日 鉄枠を再利用し、木材の梱包を削減します。…追加
- 2021年1月1日 ■持続可能な社会を実現するため、SDGs の目標達成を目指します。…追加
- 2022年1月1日 太陽光発電システムで発電した電力を最大限自家消費し、電力の購入を削減します。…追加

(6) 2022年度 環境経営目標

2022年度以降の目標値(前年比) 年間(1～12月)

	2022年度	2023年度	2024年度
電力使用量 (kwh/年)	維持	維持	維持
ガス使用量 (t/年)	維持	維持	維持
ガソリン使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
軽油使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
灯油使用量 (kl/年)	2%削減	2%削減	2%削減
燃やすしかないゴミの焼却量 (kg/年)	維持	維持	維持
鉄粹回収量(t)	維持	維持	維持
上水道使用量 (t/年)	維持	維持	維持
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	維持	維持	維持
キシレン(kg/年)	維持	維持	維持
トルエン(kg/年)	維持	維持	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		


(7) 2022年度 環境経営計画

2022年度は以下の項目に取り組みました。

項目	取組内容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、太陽光発電の利用、電灯のLED化
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施、熱中症指数計の導入
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進、WEB会議システムの活用
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしかないゴミの焼却量	紙分別の徹底、3Rの推進、ペーパーレスの推進
鉄粹回収量	積極的に回収を行う
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計


(8) 2022年環境経営活動の内容と取組結果の評価(本社工場)

推進項目	主要な活動内容	取組み結果	担当部門
環境保全型農業の支援	1. 作業時に排出されるCO ₂ を削減する(SDGs重点取組項目)	<p>スマートフォン用アプリ「Niplo Vision」により、代かき作業時のウイングハローの傾きおよび作業深さがトラクタの運転席から確認できるようになった。それによって作業機の調整時間の短縮および作業中のやり直しが減ったため、総作業時間が減り、トラクタのCO₂排出量の削減につながった。</p> 	開発部
		<p>小型ロータリーSXが20シリーズにモデルチェンジとなり、最大耕耘巾が2.0m→2.2mと広がったことで作業効率が10%向上、耕耘時のCO₂排出量を削減できるようになった。また、均平板下部ステンカバターの取付方法変更により摩耗箇所のみが交換が可能になり、厚みも1.5倍とした。新たに開発した新型ブラウン爪の採用で耐摩耗性が現行比約1.3倍にアップし、資源の有効活用につながった。</p> 	
		<p>あぜ塗機AUZが05シリーズへモデルチェンジし、成形できるあぜの硬さが現行機比最大44%向上した結果、漏水防止により米の収量が増加することでCO₂吸収量増加に貢献でき、節水にもつながった。液晶画面付きの新型無線リモコン(ユニフィットリモコン)を採用し、機械の操作性が向上。さらにニプロビジョン対応でスマホやタブレットの画面であぜ塗機の作業状態が確認できるため、短時間に機械の調整ができるようになった。</p> 	
	2. 梱包鉄枠の再利用	製品を運ぶ鉄枠について出来る限り回収を行い、再利用に努めている。	営業部
<p>【評価】広幅で高効率作業が可能な作業機開発に力を入れ、CO₂排出量削減を目指している。また、車速連動、アプリなどを製品に組み込み、高速、高効率の作業の実現を目指し、研究を行っている。</p>			

二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減(前年維持)	1. 省エネパトロールの実施	年3回実施し、不必要な電気の消灯、使用していない機械の電源オフ、人がいない箇所の暖房器具のオフ、整理整頓等の指導をした。	製造部	
		2. 再生可能エネルギーの利用	太陽光発電システム(100kW)を導入し、本社・工場にて使用している。	総務部	
		3. ライトダウンキャンペーンの実施	CO ₂ 削減/ライトダウンキャンペーンを行った。6月17日、7月15日をノー残業デーとし、6月26日は家庭でライトダウン(夜8時~10時)を行った。		
		4. ノー残業デーの実施	適切な働き方の実現と省エネを目的として、月1でノー残業デーを実施した。		
		【評価】前年比7.1%上昇した。新塗装工場建設と稼働に伴い電気使用量が増加した。SDGsの重点取組項目でもある工場内のLED照明導入を進め更なる省電力化を目指していく。			
	ガス及び灯油使用量の削減(前年維持)	1. 温度管理に対する意識高揚	オリジナルポスター(4種類ずつ)を作成し、事務所内に掲示を行い、社員にクールビズ・ウォームビズを呼びかけた。		事務所空調温度 管理部会
		2. 送風機の活用	会議室、営業部、開発部にてエアコンの空気が循環するように送風機を併用した。		
		3. ハイブリットファンの活用	空調機に取り付け、事務所内エアコンによる温度差を緩和させ効率化する。		
		4. ガス使用量の把握	事務所内エアコン用ガスの使用量を調べ、活動の基礎データにした。		
		5. 熱中症指数計の活用	熱中症指数計を導入し、エアコンの運転を開始する基準を明確化した。		
【評価】LPG使用量は前年比8.4%増加した。新塗装工場が稼働し、使用量が増加した。コロナ対策の定期的な換気も原因の一つと思われる。種々の取り組みを積み上げて使用量を抑えたい。					
1. 温度管理表の運用		工場内暖房使用基準について温度管理表に従い実施した。	工場暖房温度管理部会		
2. 温度データの把握	工場各職場の温度データを取り、活動の基礎データとした。	製造部			
3. シートシャッターの活用	冬場はインターロック機構を設定し、手前のシャッターが閉じなければ奥のシャッターが開かない様にしている。				
【評価】灯油36.9%の増加。寒さが厳しかったことに加えて、冬季に実施した旧塗装設備の撤去工事で、大きいシャッターを頻繁に開けたことで冷気が工場内に吹き込んだため、暖房での使用量が増えてしまった。					

ガソリン及び軽油の使用量削減(前年比2%削減)	1. 安全運転の推進	交通安全運動の呼びかけ、運転記録証明により該当者への指導、安全職場への表彰等啓発活動を行った。	総務部
	2. ハイブリット車両の運用	プリウス他、計10台を導入し運用している。	
	3. WEB会議システムの活用	WEB会議システムを活用し、移動することなく打合せすることができるようにしている。	
	【評価】ガソリンが8.9%増加、軽油は7.2%減少した。ウィズコロナで前年より活動量が回復した側面があるが、WEB会議やデジタルコンテンツの活用、効率のよい事業活動をこころがけて、燃料使用量削減につなげたい。		
生産効率の向上	1. 新塗装工場建設(仮稼働)	塗装設備を全面的に更新するため、新塗装工場を建設中。レイアウト変更、塗装ロボットの導入、ストレージ設置等により生産能力が約20%向上。また、2液ウレタン塗料(特化則フリー)への変更でVOC排出量を大幅に削減できる。本稼働は令和年8月頃を予定。	製造部
	2. 製造ラインデータの収集と見える化	溶接・組立ラインの機器をネットワーク化し、タッチパネルディスプレイなどを導入。様々な情報の見える化、情報間の因果関係を明確化し、原価低減とリードタイム短縮を定量的に評価できるようにした。	
	3. QRコードリーダーの活用	QRコードリーダーで製品の情報をPLCへ転送することにより、製品のデータ管理や記録が可能となった。台数を増やしてさらに効率化を図っている。	
	4. 生産システムの活用	生産システム(MCframe)を活用して、生産現場の効率化、リードタイムの短縮、生産管理のレベルアップ、原価システムの見直し、原価低減、生産現場の見える化などが可能になった。	
	5. 100%良品化活動の実施	製造部、資材部の各職場で、製造の不良や営業からのクレーム情報をテーマに改善活動を行い、その成果をまとめて発表する発表会を行っている。	
	【評価】新塗装工場建設に伴う生産ラインの見直しと、IT技術のさらなる導入で生産効率を向上させ、工場稼働時間の削減、電力燃料使用量削減と二酸化炭素排出抑制を推進する。		
廃棄物の削減	1. 紙分別を行う	業者の基準に従い紙を分別し、再生可能な物は業者の再生工場へ回して貰った。	3R推進部会
	2. ゴミゼロ運動に参加	社員39名で周辺公共道路のごみ拾いを行い、約10kgのごみが集まった。 	総務部
	3. 窓付き封筒の窓部の素材変更	給与明細の窓部分の素材をプラスチックから紙に変えたことで紙資源として捨てることができようになり、燃やすすしくないゴミの削減に貢献している。	
	4. 社服の変更	通気性の良い素材の社服に変更したことでクールビズにつながった。また、交換した社服を回収しリサイクルできるようになった。	
	5. ellシステムの運用	営業系の業務を紙からデータ管理に移行し、部品受注や出荷伝票で使用していたA5帳票やストックフォームが大幅に削減している。	
	6. デュアルモニターの活用	資料を参照しながら作業をする際、デュアルモニターを活用することで資料を紙に印刷する頻度を減らしている。	
	7. グループウェアの導入	新しいグループウェア「desknet'sNEO」を導入し、ワークフローを活用して紙の申請書や回覧を減らしている。	
	【評価】燃やすすしくないゴミが8.5%増加。分別、リユース、リサイクルの徹底はできている。今後はリデュース(減らす)に着目し、グループウェアで社内申請や回覧文書のペーパーレスを進め、廃棄物の削減を図る。		

調整池富栄養化防止	1. 水質検査	定期的に実施している。	製造部	
	2. 菱の実によるpH上昇抑止	菱の実で池を覆うようにし、植物プランクトンの光合成によるpH上昇を抑えている。		
	【評価】富栄養化は工場排水に原因がある場合が多いと言われている。水質検査の数値を分析し、富栄養化防止につなげていきたい。			
総排水量の削減 (前年維持)	1. 雨水利用	1,000ℓタンクを2ヶ設置し、雨水を利用して植栽の水やりに用いた。	総務部	
	2. 漏水チェック	毎週月曜朝のまだ社内に人がいない時間帯に水道メーターが動いていないのを確認している。		
	【評価】8.5%減少。当年は漏水が確認されなかった。早期に漏水を発見するため、水道メーターのチェックを続けていく。			
グリーン購入の推進	1. エコマーク・再生材商品の購入推進	エコマーク商品・グリーン購入法適合商品を優先して購入している。	総務部	
	【評価】近年、購入対象商品の多くが環境に配慮した物となってきている。			
里山の環境を整え自然との共存を図る(SDGs重点取組項目)	社有林管理	1. 社有林(里山)の地域への開放	会社休日には社有林を地域の里山として開放し、遊歩道散策・自然観察のために訪れることができる場とした。	総務部
		2. 伐採木の活用	伐採した松くい虫被害木を用いて、木工作家に椅子やテーブルを作成、活用している。また状態の悪いものは暖房として薪ストーブの燃料として活用した。 	
		3. 松枯れ防止樹幹注入施工	69本の松に397本の薬剤を注入した。	
		4. 竹林の伐採間伐	日が入りにくくなっていた竹林の伐採間伐を行い、日が入りやすくなった。	萌芽(里山保全部会)
	【評価】生物多様性豊かな里山の保護のため、今後も間伐を行い適度に手を入れていきたい。また、樹幹注入の効果で松枯れを防ぐことができている。			
	国蝶「オオムラサキ」の生育環境保全(乱舞を夢見で)	1. 羽化個体数の調査	7月の1ヶ月間敷地内にてオオムラサキの個体数調査を実施した。	オオムラサキ保
2. 「エノキ」の実生の調査		社員有志にて社有林内の実生のエノキや残したいクヌギ、コナラに目印のポールを立てた。併せてエノキに絡みついたツル草を刈り取った。(6月と9月に実施)		
3. 観蝶会の実施(中止)		コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。		
4. 上田創造館主催オオムラサキ観察会の協力(中止)				
5. 社有林・遊歩道の看板を設置		来社されるお客様に社有林、遊歩道、オオムラサキの保護などの活動を紹介する看板を設置している。 	総務部	
【評価】個体数調査では1日の平均個体数は10頭と昨年21頭から減少。前年に大発生したマイマイガの幼虫により、オオムラサキの幼虫の食草であるエノキが食害にあったためと考えられる。SDGsの重点取組項目でもあるので間伐や下草刈り等環境整備に地道に取り組んでいく。				

環境上の緊急事態への準備および対応	1. 複合防災訓練の実施	地震・火災時の避難訓練、消火訓練と環境負荷の災害を想定して防災訓練を10月14日実施した。環境負荷災害訓練は「灯油・オイル・廃油・薬品の漏洩」、「塗料庫からの出火」を想定し、対応方法の検討を行った。 	総務部
	2. 営業所・出張所の災害時電源確保の対応	災害時におけるコンピューター関係の電源確保の為、全ての営業所と出張所に非常用電源を設置している。	
	3. 災害時対応備蓄物資の準備	各営業所にて災害発生直後から3日、本社でも1日対応できるよう物資を備蓄し、発電機、石油ストーブを備えている。本社ではソイジョイを常備し、普段は小夜食とする「ローリングストック」を行っている。	
	4. AEDの設置(更新・追加)	本社・各営業所・物流センターのAEDを7台追加、1台更新し、AEDの講習を行った。	
	5. 消火器の更新	消火器を16本更新をした。	
	【評価】大地震などの災害に対する体制が構築されてきた。今後、消防機器の老朽化したものから随時更新していく。		
団体への支援	1. 小学生への環境活動の紹介(中止)	コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。	総務部
	2. ハナサカ軍手プロジェクトへの協賛	信州大学繊維学部内任意団体「ハナサカ軍手プロジェクト」へスポンサーとして支援している。	
	3. 地域の小学生向け産業図鑑への協賛	上田市・東御市教育委員会後援で製作され、地域の小学生のキャリア教育に役立っている冊子「わたしたちの街の社会見学」に協賛している。	
	【評価】感染症拡大防止のため、学校関係の工場見学、職場体験学習等は中止となっている。感染症が常態化する中で、これからの社会貢献や地域社会とのコミュニケーションの形について考えていく。		
化学物質(PRTR制度対象物質)の適正管理(前年以下)	1. 化学物質の適正管理	化学物質は主に塗装関係に使用しているが、作業者の安全と無駄な使用が無い様に注意している。	製造部
	2. ディーゼルエンジン排気ガス浄化装置の導入	掘取機の調整・走行試験時にディーゼルエンジンから排出される排気ガスに含まれるNox、亜硫酸ガスを、75%除去することができる排気ガス浄化装置を導入している。	
	【評価】エチルベンゼン-33.7%、キシレン-32.1%、トルエン-4.9%の減少。塗装工場が8月に仮稼働し、下塗りを特化則フリー塗料に切り替えたことで化学物質の大幅な削減ができた。		

(9) 2022年度 環境負荷実績

環境経営に取り組んだ結果、環境負荷実績は以下の通りになりました。

◇ 本社工場

目的項目	実施項目	単位	2020年	2021年	2022年	
			実績	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量の削減	電力(購入)使用量	kwh	1,978,771	2,047,575	2,047,575	2,193,528
		前年比	-4.0%	3.5%	維持	7.1%
		金額(円)	44,025,129	45,029,677	—	68,727,254
		前年比	-7.6%	2.3%	—	52.6%
	ガス使用量	t	300	300	300	325
		前年比	-5.7%	0.0%	維持	8.3%
		金額(円)	20,669,865	28,682,153	—	39,492,177
		前年比	-12.8%	38.8%	—	37.7%
	ガンリン使用量	ℓ	20,813	20,410	20,002	22,237
		前年比	-25.3%	-1.9%	2% 削減	9%
		金額(円)	2,979,695	3,173,855	—	3,642,212
		前年比	-27.3%	6.5%	—	14.8%
	軽油使用量	ℓ	37,424	39,207	38,423	36,387
		前年比	0.4%	4.8%	2% 削減	-7.2%
		金額(円)	3,369,399	4,252,371	—	4,401,661
		前年比	-1.6%	26.2%	—	3.5%
灯油使用量	kℓ	81.2	69.8	69.8	95.6	
	前年比	11.7%	-14.0%	維持	37%	
	金額(円)	5,510,074	5,189,398	—	8,333,774	
	前年比	5.0%	-5.8%	—	60.6%	
二酸化炭素排出量	(排出係数 0.388 kg-CO ₂ /kWh: 中部電力マイズR3メニューB)	kg-CO ₂	2,285,567	2,164,433	—	2,339,850
		前年比	-5.3%	-7.9%	—	11.1%
廃棄物排出量の削減	燃やすしかないゴミの焼却量*	kg	8,540	8,390	8,390	9,100
		前年比	0.7%	-1.8%	維持	8.5%
	鉄枠回収量	t	567	544	544	575
		前年比	0.3%	-4.1%	維持	5.7%
総排水量の削減	上水道使用量	t	18,502	14,311	14,311	13,097
		前年比	19.4%	-22.7%	維持	-8.5%
		金額(円)	3,466,582	2,711,831	—	2,511,197
		前年比	20.2%	-21.8%	—	-7.4%

化学物質 (PRTR 制度対象物質)の適 正管理	エチルベンゼン取 扱量	kg	6,034	6,330	6,330	4,191
		前年比	-24.5%	4.9%	維持	-33.7%
	キシレン取扱量	kg	9,003	9,045	9,045	6,140
		前年比	-20.0%	0.5%	維持	-32.1%
	トルエン取扱量	kg	855	871	871	828
		前年比	-10.8%	1.9%	維持	-4.9%

※燃やすしかないゴミの焼却量は長野営業所、及び物流センターの排出量込

※電力のCO₂排出係数は、「R3 中部電力ミライズ調整後排出係数 0.388kg-CO₂/kWh」を使用

◇ 全組織

目的項目	実施項目	単 位	2020 年 実績	2021 年 実績	2022 年 実績
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量	kwh	2,260,441	2,330,328	2,471,217
		前年比	-3.2%	3.1%	6%
		金額(円)	53,059,297	53,963,651	79,053,237
		前年比	-6.8%	1.7%	46.5%
	ガス使用量	t	306	309	335
		前年比	-5.8%	0.9%	8.4%
		金額(円)	21,882,562	28,199,789	41,325,257
		前年比	-12.3%	28.9%	46.5%
	ガソリン使用量	ℓ	40,799	37,579	41,835
		前年比	-28.8%	-7.9%	11.3%
		金額(円)	5,471,719	5,537,021	6,647,648
		前年比	-31.7%	1.2%	20.1%
	軽油使用量	ℓ	356,509	324,031	305,773
		前年比	4.3%	-9.1%	-5.6%
		金額(円)	26,765,924	27,626,495	32,288,856
		前年比	-6.3%	3.2%	16.9%
	灯油使用量	kℓ	111.9	96.6	122
		前年比	10.8%	-13.7%	26.3%
		金額(円)	8,104,331	7,541,370	11,026,315
		前年比	5.5%	-6.9%	46.2%
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,438,980	3,196,453	3,344,605
		前年比	-2.5%	-7.1%	4.6%
	鉄枠回収量	t	567	544	575
		前年比	0.0%	-4.1%	5.7%

総排水量の削減	上水道使用量	t	20,922	16,081	14,797
		前年比	19.7%	-23.1%	-8.0%
		金額(円)	4,064,123	3,199,963	2,994,263
		前年比	19.5%	-21.3%	-6.4%
化学物質(PRTR 制度対象物質)の適正管理	エチルベンゼン取扱量	kg	6,034	6,330	4,191
		前年比	11.7%	4.9%	-33.7%
	キシレン取扱量	kg	9,003	9,045	6,140
		前年比	8.1%	0.5%	-32.1%
	トルエン取扱量	kg	855	871	828
		前年比	-9.6%	1.9%	-4.9%

(10) 2023年度 環境経営目標

- ・2023年度も引続き「環境保全型農業」を支援する作業機の開発を行います。
- ・電力、上水道、ガス、灯油、ガソリン、軽油使用量の削減を図り限りある資源を大切に使用します。
- ・「燃やすしかないゴミ」の焼却量を増やさないようにします。
- ・紙を大切に使用します。
- ・製品を置いている鉄枠について出来る限り回収を行い再利用に努めます。
- ・国蝶「オオムラサキ」の生息は自然環境と深く結びついています。社有林の手入れを学び、四季折々地域に公開できる里山として育成を図ります。
- ・人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質について、適正に管理していることを定期的に確認します。
- ・グリーン購入を進めます。
- ・各削減目標は昨年度の目標と実績を考慮し次の通りとします。

2023年度以降の目標値(前年比) 年間(1～12月)

	2023年度	2024年度	2025年度
電力使用量 (kwh/年)	維持	維持	維持
ガス使用量 (t/年)	削減	削減	維持
ガソリン使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
軽油使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
灯油使用量 (kl/年)	2%削減	2%削減	2%削減
燃やすしかないゴミの焼却量 (kg/年)	維持	維持	維持
鉄枠回収量(t)	維持	維持	維持
上水道使用量 (t/年)	維持	維持	維持
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	削減	削減	維持
キンレン(kg/年)	削減	削減	維持
トルエン(kg/年)	削減	削減	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		

(1) 2023 年度 環境経営計画

2023 年度は以下の取組内容にて活動を行います。

項目	取組内容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、太陽光発電の利用、電灯の LED 化
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施、熱中症指数計の導入
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進、WEB 会議システムの活用
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしつかないゴミの焼却量	紙分別の徹底、3R の推進、ペーパーレスの推進
鉄粹回収量	積極的に回収を行う
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計

(2) 2022 年度 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2022 年度環境関連法規の順守評価

No	法規制等の名称	要求事項	順守評価
1	大気汚染防止法	VOC 濃度測定	○
2	水質汚濁防止法	排出水の汚染状態の測定	○
3	浄化槽法	法定検査、点検、水質検査	○
4	廃棄物処理法	マニフェスト、契約書、保管基準、報告書の提出	○
5	PRTR 法	排出量等の把握、届出	○
6	省エネルギー法	年間エネルギー量の算定	対象外
7	消防法	危険物保管、地下タンク点検	○
8	高圧ガス保安法	保安検査	○
9	自動車 Nox・PM 法	粒子状物質の排出基準、大阪府流入車規制	○
10	RoHS 指令	有害 10 物質の使用禁止	○
11	毒物及び劇物取締法	業務上取扱者規定	○
12	道路交通法	安全運転、運転日報、積載量	○
13	道路法	荷崩れ防止の為に固定ベルト使用	○
14	道路運送車両法	定期点検整備	○
15	フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○
16	労働安全衛生法	決められた管理者の選任	○

関係機関や地域周辺等から過去3年間特に指摘はありませんでした。訴訟等も同様です。

(13) 2022 年度 環境活動報告(営業所、出張所、物流センター)

・北海道営業所

・旭川出張所

・帯広出張所

・東北営業所

・関東営業所

・長野営業所、物流センター(同一建物)

・岡山営業所

・九州営業所

・南九州出張所

以上の順で次頁より

2022年度 使用実績

北海道営業所 環境活動報告

作成日： 2023年2月22日
作成者： 小玉 由紀

2022年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2022年度目標	目標比(%)	2021年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	3,094	2,720	3,160	3,228	2,669	1,639	1,811	1,692	1,565	1,681	2,425	2,518	28,202	31,000	91	30,720	92
金額	140,660	129,104	145,300	147,698	128,096	91,396	98,858	95,757	92,169	96,366	123,136	130,578	1,419,118	(前年維持)		1,251,958	113
昨年使用実績	3,288	3,038	2,760	3,026	2,813	1,502	2,213	1,750	1,598	1,646	4,336	2,750	30,720				
昨年金額実績	134,148	125,818	116,197	124,931	119,906	80,452	88,446	87,538	85,064	86,423	77,138	125,897	1,251,958				
ガソリン	31	25	55	106	102	137	164	57	178	127	83	63	1,128	1,430	79	1,467	77
金額	4,563	3,743	8,360	16,341	15,700	20,659	24,933	8,653	26,779	19,084	12,462	9,346	170,643	(2%削減)		197,282	86
昨年使用実績	48	52	74	253	201	139	209	166	62	61	100	102	1,467				
昨年金額実績	5,707	6,218	9,119	32,582	26,631	18,650	28,520	23,116	8,657	8,505	14,405	15,172	197,282				
軽油	1,235	1,259	1,812	3,114	2,601	2,303	2,152	2,010	2,062	1,997	1,775	1,528	23,848	22,000	108	26,254	91
金額	120,771	125,712	185,490	328,497	271,488	233,624	220,749	208,384	208,704	201,661	178,531	151,879	2,435,490	(2%削減)		2,217,708	110
昨年使用実績	1,743	1,932	2,393	4,257	3,294	2,328	1,415	1,583	2,126	1,871	1,672	1,640	26,254				
昨年金額実績	123,917	139,697	183,768	342,355	277,432	198,386	125,255	142,794	192,614	170,428	157,124	163,938	2,217,708				
水道(m)	9		9		25		28		21		15		107	100	107	99	108
金額	3,300		3,300		4,653		7,040		4,768		4,000		27,061	(前年維持)		21,152	128
昨年使用実績	9		7		21		24		19		19		99				
昨年金額実績	3,300		3,300		3,570		4,382		3,300		3,300		21,152				
LPG(m ³ or kg選択)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.7	3.0	57	0.8	213
金額	2,725	2,420	2,621	2,624	2,631	2,525	2,524	2,523	2,420	2,521	2,420	2,521	30,475	(前年維持)		29,772	102
昨年使用実績	0.1	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8				
昨年金額実績	2,506	2,597	2,420	2,420	2,420	2,600	2,420	2,420	2,512	2,516	2,420	2,521	29,772				
灯油(ℓ)	706	411	550									505	2,172	3,300	66	3,296	66
金額	77,660	45,210	62,920									57,217	243,007	(前年維持)		291,887	83
昨年使用実績	705	740	670									580	3,296				
昨年金額実績	55,061	59,422	56,749									63,800	291,887				
合計														93,216		109,544	
*排出係数：0.537														(北海道電力 R3年メニューC)			

2022年度	取組んだ内容 及び 評価		2023年度	2024年度	2025年度	次年度取組内容
	取組んだ内容	評価				
電気	・こまめに電気を消す。	倉庫内の電気はこまめに消した。使用料は目標達成したが金額は高騰	30,000	30,000	30,000	・こまめに電気を消す。
ガソリン	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	燃費の良い運転が出来ている	1,100	1,080	1,050	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る
軽油	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	微減	23,400	22,900	22,500	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る
水道	・洗車時、無駄に使わない。	夏場に増加	100	100	100	・節水に努める
LPG	・給湯器温度設定を小にする	使用料は増加したが現状維持	3.0	3.0	3.0	・節約に努める
灯油	・ストーブの温度を上げすぎない。	倉庫内のストーブ使用を減らしたため大幅に節約	3,000	3,000	3,000	・ストーブの温度を上げすぎない

2022年度 旭川出張所 環境活動報告

作成日： 2023年2月21日
作成者： 樋口 寛子

2022年度	使用実績												2021年度実績	前年度比(%)	2022年度目標	目標比(%)				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					合計			
電気(Kwh)	1,292	1,275	1,268	1,397	1,098	855	1,028	898	826	777	915	1,224	12,853	16,000	80	15,236	84			
金額	61,097	61,824	62,720	67,141	56,045	47,146	55,373	50,638	47,696	45,714	50,617	63,266	669,277	(前年維持)	693,329	97				
昨年使用実績	1,524	1,419	1,256	1,472	1,520	1,035	1,296	1,310	1,022	924	1,297	1,161	15,236							
昨年金額実績	63,889	60,507	55,010	62,378	65,820	49,754	59,637	60,786	50,882	47,424	61,241	56,031	693,329							
ガソリン(ℓ)	243	204	251	404	249	277	319	320	346	261	236	272	3,382	4,800	70	2,222	152			
金額	35,768	30,067	38,183	62,620	38,330	41,769	48,486	48,924	52,072	39,251	35,303	40,367	511,140	(前年維持)	299,719	171				
昨年使用実績	172	167	193	108	173	138	132	165	228	329	210	210	2,222							
昨年金額実績	20,398	20,028	23,828	13,859	22,914	18,477	17,936	22,991	31,883	45,953	30,119	31,333	299,719							
軽油(ℓ)	156	72	255	141	90	176	225	127	61	90	126	72	1,591	5,100	31	3,579	44			
金額	15,256	8,202	29,585	16,954	10,682	19,432	25,416	14,511	6,173	10,682	14,956	8,548	180,397	(前年維持)	312,220	58				
昨年使用実績	0	92	0	513	631	494	0	179	517	670	484	0	3,579							
昨年金額実績	0	6,569	0	42,134	52,685	41,797	0	16,145	46,811	60,587	45,492	0	312,220							
水道(m)	地下水のため																			
金額	なし																			
昨年使用実績														0	(前年維持)	0	#DIV/0!			
昨年金額実績														0		0	#DIV/0!			
LPG(m ³)(kg選択)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
昨年使用実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
昨年金額実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
灯油(ℓ)	749	860	655	420	240	36	36	36	0	54	436	771	4,293	4,000	107	4,301	100			
金額	79,896	94,499	75,403	50,868	28,743	4,237	4,237	4,237	0	6,356	52,305	89,669	490,450	(前年維持)	407,896	120				
昨年使用実績	705	768	609	469	260	0	0	0	90	48	518	834	4,301							
昨年金額実績	54,277	67,860	53,618	43,823	24,347	0	0	0	8,712	4,646	57,005	93,608	407,896							
													29,628			28,852	1			

*排出係数：0.537 (北海道電力 R3年メニューC)

2022年度	取組んだ内容 及び 評価				取組んだ内容				評価			
	2023年度	2024年度	2025年度	次年度以降の目標	2023年度	2024年度	2025年度	次年度取組内容				
電気	昼休みに倉庫の電気消灯する等不要な電気の消灯	削減できた			13,000	13,000	13,000	不要な電気の消灯				
ガソリン	燃費の良い安全運転に努める	削減できなかった			3,400	3,400	3,400	燃費の良い安全運転に努める				
軽油	フォークリフト不使用时はエンジンを切る	削減できた			1,600	1,600	1,600	フォークリフト不使用时はエンジンを切る				
水道	洗車時水を出しっぱなしにしない	節水した			地下水	地下水	地下水	水を出しっぱなしにしない				
LPG	給湯器の温度設定を下げる	ガスボンベ交換に至らなかった			0	0	0	給湯器の温度設定を下げる				
灯油	ストーブ設定温度を上げすぎないように厚着する。サーキュレーターを使用して暖房効率をよくする	現状維持			4,300	4,300	4,300	定温度を上げすぎないように厚着する。サーキュレーターを使用して暖房効率をよくする				

2022年度 使用実績

作成日： 2023年2月22日
作成者： 小玉 由紀

2022年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2022年度目標	目標比(%)	2021年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	682	575	492	427	386	307	357	349	326	281	300	329	4,811	6,000	80	5,931	81
金額	36,402	32,826	29,935	27,469	25,701	22,914	25,444	25,366	24,356	22,551	23,353	24,316	320,633	(前年維持)		337,735	95
昨年使用実績	919	732	684	489	442	295	425	387	351	306	427	474	5,931				
昨年金額実績	41,893	35,490	33,838	27,422	26,160	21,310	26,050	24,842	23,570	22,149	26,653	28,358	337,735				
ガソリン	120	127	130	208	241	175	145	66	67	127	182	78	1,666	1,800	93	1,836	91
金額	17,728	18,683	19,747	32,217	37,150	26,326	22,095	10,091	10,112	19,112	27,183	11,606	252,050	(2%削減)		246,655	102
昨年使用実績	128	67	192	204	173	99	147	163	148	217	167	131	1,836				
昨年金額実績	15,125	8,112	23,645	26,222	22,915	13,284	20,052	22,812	20,732	30,296	23,962	19,528	246,655				
軽油	0	0	0	33	33	0	0	0	0	0	0	43	110	390	28	395	28
金額	0	0	0	3,509	3,476	0	0	0	0	0	0	4,274	11,259	(2%削減)		34,094	33
昨年使用実績				185			40	50		70		50	395				
昨年金額実績				14,723			3,484	4,510		6,377		5,000	34,094				
水道(m)	3	2	2	3	6	7	4	3	3	2	2	2	39	45	87	47	83
金額	2,062	2,062	2,062	2,062	4,126	4,126	2,062	2,062	2,062	2,032	2,062	2,062	28,842	(前年維持)		26,808	108
昨年使用実績	4	5	5	6	3	3	3	4	3	3	3	5	47				
昨年金額実績	2,062	2,062	2,062	4,126	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	2,062	26,808				
LPG(m ³ or kg運扱)	0.7	0.4	0.6	0.8	0.7	0.8	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	5.7	7.2	79	7.2	79
金額	3,339	3,124	3,223	3,454	3,377	3,498	3,619	3,003	2,882	2,882	3,124	3,850	39,375	(前年維持)		37,736	104
昨年使用実績	1.2	1.1	1.1	0.5	0.1	0.3	1	0.8	0.2	0.2	0.3	0.4	7.2				
昨年金額実績	3,718	3,619	3,619	3,042	2,632	2,837	3,553	3,384	2,748	2,748	2,857	2,979	37,736				
灯油(ℓ)			132								282	416	829	1,000	83	1,062	78
金額			14,430								26,743	29,417	70,590	(前年維持)		87,791	80
昨年使用実績	72	231	298		187						141	133	1,062				
昨年金額実績	5,480	8,358	28,310	0	17,531	0	0	0	0	0	14,905	13,207	87,791				
													8,841			11,531	1

*排出係数：0.537 (北海道電力 R3年メニューC)

2022年度	取組んだ内容 及び 評価		取組んだ内容					評価				
	取組んだ内容	評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	次年度取組内容	
電気	・こまめに電気を消す。	使用料、金額共に削減できた	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	・こまめに電気を消す。	
ガソリン	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	燃費の良い走りが出てきている	1,650	1,600	1,570	1,570	1,570	1,570	1,570	1,570	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	
軽油	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	トラック使用量が減った	300	300	300	300	300	300	300	300	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	
水道	・洗車時、無駄に使わない。	節水できた	40	40	40	40	40	40	40	40	・節水に努める。洗車時の節水。	
LPG	・給湯器温度設定を小にする	節約できた	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	・節約に努める	
灯油	・ストーブの温度を上げすぎない。	ストーブの設定温度を下げ節約できた	850	850	850	850	850	850	850	850	・ストーブの温度を上げすぎない	

2022年度 東北営業所 環境活動報告

作成日： 2023年8月23日
作成者： 高橋ひとみ

2022年度		使用実績												2022年度目標	目標比(%)	2021年度実績	前年度比(%)	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計				
電気(Kwh)	金額	3,765	4,239	3,760	4,330	3,702	3,311	3,229	3,264	2,842	3,052	3,366	3,918	42,778	41,000	104	41,353	103
	昨年使用実績	98,046	111,572	104,678	118,526	106,204	98,242	99,336	106,870	100,910	111,092	122,136	144,503	1,322,115	(前年維持)		1,076,621	123
ガソリン(ℓ)	金額	117	103	103	123	136	335	350	318	334	160	456	312	2,811	2,130	132	2,128	132
	昨年使用実績	17,277	9,801	15,608	19,275	20,878	50,829	53,260	48,667	50,206	24,077	47,213	68,445	68,445	(前年維持)		287,951	148
軽油(ℓ)	金額	213	145	219	126	102	135	204	301	79	122	225	257	2,128			2,128	
	昨年使用実績	25,273	17,453	27,073	16,168	13,578	18,069	28,209	42,019	11,060	17,075	33,516	38,454	38,454			287,951	75
水道(m)	金額	1,214	1,837	5,282	7,896	6,925	4,832	4,362	3,161	3,821	3,424	4,337	3,400	50,557	67,000		68,291	74
	昨年使用実績	129,975	191,267	560,839	839,111	735,232	501,852	458,334	335,224	386,625	361,722	445,317	343,466	5,288,964	(2%削減)		5,811,757	91
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	金額	5,021	5,228	7,736	9,371	8,454	5,724	5,703	3,516	3,827	4,170	5,655	3,886	68,291			68,291	
	昨年使用実績	361,252	383,313	589,225	750,589	714,999	484,743	508,980	330,126	348,930	391,901	558,278	389,421	5,811,757			5,811,757	
LPG(m ³)	金額	18	25	14	18	18	18	18	18	18	13	24	204	230	230	89	228	89
	昨年使用実績	5,926	5,544	7,608	5,162	5,926	5,926	5,353	5,926	5,926	4,971	7,348	5,162	70,341	(前年維持)		73,887	95
灯油(ℓ)	金額	21	18	17	18	21	21	22	18	18	16	22	16	228			228	
	昨年使用実績	6,568	5,926	5,735	5,926	6,568	6,568	6,828	5,926	5,926	5,544	6,828	5,544	73,887			73,887	
電気(Kwh)	金額	311	364	306	301	144	98	244	310	176	86	171	268	2,779	2,710	103	2,767	100
	昨年使用実績	109,138	129,631	115,745	123,051	60,093	40,487	97,638	119,958	66,328	33,418	63,708	99,260	1,058,455	(2%削減)		886,083	119
ガソリン(ℓ)	金額	297	373	326	234	124	87	129	383	193	62	177	382	2,767			2,767	
	昨年使用実績	81,181	109,784	98,422	71,757	37,475	26,547	40,676	123,113	63,607	23,306	68,053	142,162	886,083			886,083	
軽油(ℓ)	金額	583	710	458	0	200	0	0	0	0	0	331	713	2,995	2,200	136	2,202	136
	昨年使用実績	65,544	81,918	54,669	0	0	23,980	0	0	0	0	37,866	81,568	345,555	(前年維持)		220,190	157
水道(m)	金額	464	640	235	0	0	0	0	0	0	0	330	533	2,202			2,202	
	昨年使用実績	42,062	59,500	22,748	0	0	0	0	0	0	0	36,663	59,217	220,190			220,190	
		二酸化炭素排出量(kg-CO2)												182,797		214,934	85	

*排出係数：0.488 (東北電力 R3年メニューC)

2022年度	取組んだ内容 及び 評価	取組んだ内容				評価	
		2023年度	2024年度	2025年度	次年度取組内容		
電気	不在場所の消灯 長時間離席時電気機器の電源OFF 5S徹底と定着	値上げの影響で一層節電意識の向上がみられるが対前年比3%増。目標値に近づけるよう今後も取組みを継続する	41,922	41,922	41,922	前年度取組みを継続	
ガソリン	エコドライブの啓発 自動車点検整備を定期的に実施 アイドリングストップ	冬期間安全面を考慮し遠方豪雪地帯での営業推進に乗用車(ガソリン車)を使用した。結果前年比+32%と大幅にカーボン削減	2,800	2,800	2,800	前年度取組みを継続	
軽油	エコドライブの啓発 車両定期点検整備の実施 アイドリングストップ	昨年より26%減。乗用車の使用が増えてその分のトラックの運転時間が減り消費量が減少した。	67,000	67,000	67,000	前年度取組みを継続	
水道	洗車、洗濯時の節水 漏水確認 節水を呼び掛けるポスターを掲示	洗車回数減で11%削減。限られた資源を守るために今後も節電意識を高めていく	204	204	204	前年度取組みを継続	
LPG	空調の適温化 クールビズ、ウォームビズの実施 ブラインド調整でエアコン適温化	GHPは経年劣化で不具合が頻出し、修理の都度試運転(強弱)送風の繰り返しを余儀なくされた。使用量増加が心配されたが前年度と同量を維持できた。	2,710	2,710	2,710	前年度取組みを継続	
灯油	始業前や不在場所では暖房機器OFF 暖房の適度な温度設定と衣類での防寒対策	前年比36%増。倉庫業務用ヒータの稼働時間が増え使用量UP。F17Tの出入りが多く屋内の温度管理は難しいが出来る範囲で工夫しながら適切な運用を目指していく。	2,935	2,876	2,818	前年度取組みを継続	

関東営業所 環境活動報告

2022年度

作成日： 2023年1月30日
作成者： 岸山紘一

2022年度	使用実績												2021年度実績	前年度比(%)			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			合計	2022年度目標	目標比(%)
電気(Kwh)	6,266	7,746	6,534	5,182	3,513	3,401	5,701	5,889	4,242	3,638	3,528	4,918	60,558	63,009	96	63,645	95
金額	160,716	198,559	176,946	154,128	119,606	117,887	178,851	192,803	156,076	143,636	143,755	194,603	1,937,566	1,937,566	1%削減	1,518,726	128
昨年使用実績	7,245	8,792	6,394	5,120	4,269	3,546	3,527	5,899	5,010	3,580	4,382	5,881	63,645				
昨年金額実績	143,183	165,326	133,272	117,359	108,948	98,528	100,587	144,892	131,685	105,845	119,705	149,396	1,518,726				
ガソリン(ℓ)	124	238	381	281	259	310	399	238	193	334	363	141	3,261	2,763	118	2,763	118
金額	21,290	29,744	64,005	50,022	42,276	56,444	65,936	38,640	32,129	55,564	58,496	23,354	537,900	前年維持		426,620	126
昨年使用実績	133	212	349	199	167	226	323	233	110	267	329	245	2,763				
昨年金額実績	18,665	30,483	51,708	30,896	20,621	35,444	46,803	35,075	17,926	43,686	53,612	41,701	426,620				
軽油(ℓ)	2,430	2,494	3,778	4,241	3,021	3,093	2,706	1,822	2,307	2,795	2,967	2,689	34,343	32,734	105	34,917	98
金額	239,905	246,779	390,638	451,593	319,332	314,714	278,421	188,575	236,776	287,897	300,015	271,664	3,526,309	1%削減		2,880,892	122
昨年使用実績	1,549	2,571	3,333	4,278	3,021	3,052	2,763	1,845	2,285	2,934	2,957	2,477	33,065				
昨年金額実績	109,496	188,167	258,296	258,296	257,130	265,762	245,672	168,746	212,462	267,732	285,497	251,466	2,768,722				
水道(m)		42		48		48		54		41		41	274	323	85	326	84
金額		13,321		14,014		14,014		14,707		13,205		13,205	82,466	1%削減		88,472	93
昨年使用実績		46		85		52		56		42		45	326				
昨年金額実績		13,783		18,287		14,476		14,938		13,321		13,667	88,472				
LPG(m)	2.6	3.4	3	3.1	1.9	1.5	0.8	0.4	0.5	0.7	1.1	2	21	31	68	32	65
金額	2,865	3,224	3,133	3,282	2,706	2,483	2,145	1,948	1,989	2,080	2,262	2,262	30,379	1%削減		33,563	91
昨年使用実績	4	4.6	3.5	3.9	3.5	2.2	2.3	1.1	1	1.2	2	2.9	32				
昨年金額実績	3,158	3,466	3,091	3,249	3,048	2,561	2,640	2,198	2,162	2,268	2,666	3,056	33,563				
灯油(ℓ)	380											150	720	188		190	379
金額	46,189											194,700	89,903	前年維持		17,670	509
昨年使用実績	190												190				
昨年金額実績	17,670												17,670				
													136,575			120,482	113

*排出係数：0.457 (東京電力 R3メニュー)

2022年度	取組んだ内容 及び 評価		取組んだ内容		評価		次年度以降の目標		2023年度		2024年度		2025年度		次年度取組内容	
	取組んだ内容	評価	取組んだ内容	評価	取組んだ内容	評価	取組んだ内容	評価	取組んだ内容	評価	取組んだ内容	評価	取組んだ内容	評価	取組んだ内容	評価
電気	休憩時間・使用していない場所は、こまめに消す	空調室にいた営業が事務所に戻ったと同時に空調を止めて空気を冷やして使用電力が抑えられた。照明のLED化も、球切れした蛍光灯からLEDへ進んでいる	空調室にいた営業が事務所に戻ったと同時に空調を止めて空気を冷やして使用電力が抑えられた。照明のLED化も、球切れした蛍光灯からLEDへ進んでいる	空調室にいた営業が事務所に戻ったと同時に空調を止めて空気を冷やして使用電力が抑えられた。照明のLED化も、球切れした蛍光灯からLEDへ進んでいる	空調室にいた営業が事務所に戻ったと同時に空調を止めて空気を冷やして使用電力が抑えられた。照明のLED化も、球切れした蛍光灯からLEDへ進んでいる	空調室にいた営業が事務所に戻ったと同時に空調を止めて空気を冷やして使用電力が抑えられた。照明のLED化も、球切れした蛍光灯からLEDへ進んでいる	空調室にいた営業が事務所に戻ったと同時に空調を止めて空気を冷やして使用電力が抑えられた。照明のLED化も、球切れした蛍光灯からLEDへ進んでいる	空調室にいた営業が事務所に戻ったと同時に空調を止めて空気を冷やして使用電力が抑えられた。照明のLED化も、球切れした蛍光灯からLEDへ進んでいる	こまめな電源の管理、省電力型機器への更新をすすめていく	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	こまめな電源の管理、省電力型機器への更新をすすめていく
ガソリン	効率の良い出張、無駄なアイドリングの抑止	各地イベント復活に伴い、社用車の走行距離が増えたこともあり、増加に繋がった	各地イベント復活に伴い、社用車の走行距離が増えたこともあり、増加に繋がった	各地イベント復活に伴い、社用車の走行距離が増えたこともあり、増加に繋がった	各地イベント復活に伴い、社用車の走行距離が増えたこともあり、増加に繋がった	各地イベント復活に伴い、社用車の走行距離が増えたこともあり、増加に繋がった	各地イベント復活に伴い、社用車の走行距離が増えたこともあり、増加に繋がった	無駄なアイドリングをしない、効率的なルートでの出張をしていく	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	無駄なアイドリングをしない、効率的なルートでの出張をしていく	
軽油	効率の良い出張、無駄なアイドリングの抑止	出張を抑えることが減り、使用量の増加につながった	出張を抑えることが減り、使用量の増加につながった	出張を抑えることが減り、使用量の増加につながった	出張を抑えることが減り、使用量の増加につながった	出張を抑えることが減り、使用量の増加につながった	出張を抑えることが減り、使用量の増加につながった	無駄なアイドリングをしない、効率的なルートでの出張をしていく	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	無駄なアイドリングをしない、効率的なルートでの出張をしていく	
水道	出しっぱなしの防止	展示機、実演機をできるだけ屋根の下に置き、雨ざらしにしないことで洗濯機が濡れた感を受けた	展示機、実演機をできるだけ屋根の下に置き、雨ざらしにしないことで洗濯機が濡れた感を受けた	展示機、実演機をできるだけ屋根の下に置き、雨ざらしにしないことで洗濯機が濡れた感を受けた	展示機、実演機をできるだけ屋根の下に置き、雨ざらしにしないことで洗濯機が濡れた感を受けた	展示機、実演機をできるだけ屋根の下に置き、雨ざらしにしないことで洗濯機が濡れた感を受けた	展示機、実演機をできるだけ屋根の下に置き、雨ざらしにしないことで洗濯機が濡れた感を受けた	無駄な水を控える、しっかりと蛇口を閉める。漏水確認	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	無駄な水を控える、しっかりと蛇口を閉める。漏水確認	
LPG	給湯の使用を抑える	電気ケトルの使用で給湯器の使用を抑えられた	電気ケトルの使用で給湯器の使用を抑えられた	電気ケトルの使用で給湯器の使用を抑えられた	電気ケトルの使用で給湯器の使用を抑えられた	電気ケトルの使用で給湯器の使用を抑えられた	電気ケトルの使用で給湯器の使用を抑えられた	無駄な水を控える	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	無駄な水を控える	
灯油	暖房用灯油の節約	暖房用灯油の節約	暖房用灯油の節約	暖房用灯油の節約	暖房用灯油の節約	暖房用灯油の節約	暖房用灯油の節約	暖房用灯油の節約	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	前年維持	暖房用灯油の節約	

作成日： 2023年2月1日
作成者： 岩淵 彩子

2022年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2022年度目標	目標比(%)	2021年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	3,486	3,572	3,270	3,363	2,873	2,296	2,460	2,265	2,141	2,375	2,482	2,644	33,227	35,000	95	35,479	94
金額	9,466	111,348	106,211	110,772	97,228	79,548	87,164	82,854	81,718	90,557	94,305	115,812	1,066,983			965,024	111
昨年使用実績	4,137	3,906	3,486	3,467	3,410	2,393	2,304	2,507	2,093	2,278	2,536	2,962	35,479				
昨年金額実績	102,328	97,215	88,833	90,329	92,408	67,517	65,437	70,262	60,926	66,945	74,997	87,827	965,024				
ガソリン(ℓ)	251	149	134	44	30	207	317	50	75	225	112	112	1,822	5,200	35	2,173	84
金額	36,886	21,931	20,398	6,815	4,623	31,223	48,740	7,674	11,316	33,891	33,977	16,694	274,168			285,859	96
昨年使用実績	292	327	138	229	180	131	295	136	46	102	160	138	2,173				
昨年金額実績	34,669	39,275	16,991	29,976	23,854	17,553	40,213	19,027	6,476	14,236	22,959	20,630	285,859				
軽油(ℓ)	1,235	1,465	4,959	6,843	6,202	4,460	5,077	3,192	3,501	5,108	5,336	3,054	50,433	62,000	81	49,859	101
金額	123,528	110,551	508,587	714,978	631,241	463,160	482,192	333,355	360,836	521,922	498,095	310,916	5,059,361			4,111,973	123
昨年使用実績	1,814	3,789	6,765	7,222	5,899	3,964	4,283	1,766	2,454	4,572	4,324	3,006	49,859				
昨年金額実績	121,695	277,553	493,884	577,933	492,777	327,883	357,587	161,114	187,812	420,743	396,929	296,063	4,111,973				
水道(m)		96	88	217				107		102		95	705	650	108	656	107
金額		20,080	18,704	41,576				21,990		21,331		19,980	143,661			130,355	110
昨年使用実績		142	112	119				105		82		96	656				
昨年金額実績		26,723	21,410	25,560				20,206		16,340		20,116	130,355				
LPG(m ³) (kg運択)	628	606	644	148	54	124	328	388	188	112	370	606	4,196	3,500	120	3,538	119
金額	92,837	86,191	94,391	24,195	9,496	13,770	51,725	59,806	27,797	16,481	53,805	88,875	619,369			473,800	131
昨年使用実績	624	638	468	236	64	124	358	104	88	100	286	448	3,538				
昨年金額実績	64,696	72,783	56,557	29,504	7,563	13,770	41,313	50,706	11,410	13,043	42,267	70,188	473,800				
灯油(ℓ)	3,460	3,404	2,320	533						490	1,388	2,743	14,338	15,000	96	14,915	96
金額	306,517	314,069	221,288	55,081						52,822	126,946	247,753	1,324,476			1,236,178	107
昨年使用実績	3,298	3,125	2,234	785						1,715	3,758	14,915	1,236,178				
昨年金額実績	237,798	237,871	187,300	69,071							160,306	341,832	1,236,178				

(中部電力 R3年メニューB)

*排出係数：0.388

二酸化炭素排出量(kg-CO2)

195,766

2022年度	取組んだ内容 及び 評価		取組んだ内容		評価	
	取組んだ内容	評価	取組んだ内容	評価		
電気	エアコン等の適切な温度設定 不在場所等、不要な電気の消灯	冬場の使用量を抑えることができ、目標達成となった。	エアコン等の適切な温度設定 使用していない場所の消灯	次年度取組内容		
ガソリン	定期的な車の点検整備 冷暖房のつけすぎに注意する	昨年より減少した。コロナの影響により通常より大幅に減。	エコドライブの徹底 アイドリングストップ 車内を適切な温度にする			
軽油	定期的な車の点検整備 冷暖房のつけすぎに注意する	少し増加したが、ほぼ昨年通り。コロナの影響により通常より大幅に減。	エコドライブの徹底 アイドリングストップ 車内を適切な温度にする			
水道	漏水チェック 節水の呼びかけ	6月分使用量は蛇口の閉め忘れが原因かと思われる。こまめに止めるよう、節水を呼びかけていきたい。	漏水チェック・節水の呼びかけ 蛇口の閉め忘れ防止			
LPG	ウォームビズ・クールビズの実施 室内温度の管理	天候の影響もあると思われるが、夏場の使用料が大幅に増加した。熱中症等に注意しながら削減に努めたい。	ウォームビズ・クールビズの実施 室内温度の管理			
灯油	暖房器具の適切な温度設定	昨年よりも削減することができた。寒い中暖房器具だけに頼らず、各々防寒対策に励んだ結果と思われる。	暖房器具の適切な温度設定			

九州営業所 環境活動報告

2022年度

作成日： 2023年1月30日
作成者： 熊谷 秀之

2022年度	使用実績												2022年度目標	目標比(%)	2021年度実績	前年度比(%)	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					合計
電気(Kwh)	5,243	5,115	5,285	4,568	4,092	4,330	5,453	6,451	6,048	5,033	4,063	4,278	59,959	57,000	105	59,461	101
金額	162,290	160,104	166,255	154,750	145,903	151,826	180,190	209,267	202,252	182,791	161,944	183,736	2,061,308	(4%増減)		1,800,186	115
昨年使用実績	4,758	4,786	4,633	4,450	3,977	3,980	5,496	6,507	6,187	5,283	4,501	4,903	59,461				
昨年金額実績	138,521	138,525	137,328	137,383	129,971	129,510	162,429	185,063	179,567	161,564	145,845	154,480	1,800,186				
ガソリン(ℓ)	370	168	244	173	89	51	202	106	173	202	303	126	2,207	2,300	96	1,956	113
金額	55,330	24,920	37,382	26,796	13,644	7,685	30,761	16,220	26,034	30,302	45,687	18,661	333,422	(15%削減)		267,309	125
昨年使用実績	139	83	164	247	0	170	190	213	119	139	294	198	1,956				
昨年金額実績	16,483	9,960	21,346	32,305	0	22,800	26,266	29,761	16,614	19,471	42,189	30,114	267,309				
軽油(ℓ)	2,829	3,140	3,737	4,590	3,514	5,582	3,651	3,161	3,274	3,602	3,330	3,151	43,561	43,500	100	38,701	113
金額	294,246	327,780	413,523	504,144	382,013	599,572	403,459	339,474	346,228	391,334	353,247	330,673	4,685,693	(5%削減)		3,085,295	152
昨年使用実績	2,341	3,299	4,437	3,984	3,820	4,551	3,510	2,145	3,437	3,832	3,294	2,702	41,352				
昨年金額実績	174,772	259,525	354,524	338,202	334,634	404,369	330,721	197,909	316,791	357,726	322,215	275,885	3,667,273				
水道(m)	14	16	12	13	15	12	17	16	13	20	14	14	174	230	76	227	77
金額	5,100	5,760	4,460	4,780	5,430	4,460	6,080	7,050	4,780	5,760	4,460	5,100	63,220	(1%削減)		80,950	78
昨年使用実績	14	21	14	13	17	13	20	23	41	20	16	15	227				
昨年金額実績	5,100	7,380	5,100	4,780	6,080	4,780	7,050	8,030	14,410	7,050	5,760	5,430	80,950				
LPG(m ³ or kg運扱)													0				
金額													0				
昨年使用実績													0				
昨年金額実績													0				
灯油(ℓ)	200											200	400	550	73	400	100
金額	24,800											24,800	49,600	(27%削減)		43,600	114
昨年使用実績	200											200	400				
昨年金額実績	19,800											23,800	43,600				
													143,943			135,763	106

*排出係数：0.392 (九州電力 R3年メニュー-B)

2022年度	取組んだ内容 及び 評価		取組んだ内容				評価			
	取組んだ内容	評価	2023年度	2024年度	2025年度	次年度取組内容				
電気	・休憩時間は消灯(事務所、倉庫内)	消灯は意識してできている。定期的な換気により空調効率悪い。営業マン日常的に会議室を使用のため使用量増。	57,000	56,900	56,800	前年同様に取り組む。				
ガソリン	・アイドリングを控える。時間に余裕を持ち下道も使う。高速道路上では給油を控える。	コロナ禍で出張が減。	2,200	2,150	2,100	効率的な出張を心掛ける。				
軽油	・アイドリングを控える。時間に余裕を持ち下道も使う。高速道路上では給油を控える。	コロナ禍で宿泊出張が減。日帰り出張が多いが、活動量は昨年より増えた。	42,000	41,500	41,000	効率的な出張を心掛ける。				
水道	・機械の洗車は極力相手先で行う。	節水取り組んでいる。	200	200	200	前年同様に取り組む。				
LPG	・使用していない。									
灯油	・必要なときのみに使用する。	温度管理が必要なときのみに使用する。	400	400	400	必要なときのみに使用する。				

2022年度 南九州出張所 環境活動報告

作成日： 2023年2月2日
作成者： 小島 章太郎

2022年度	使用実績												2022年度目標	目標比(%)	2021年度実績	前年度比(%)	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					合計
電気(Kwh)	2,463	2,702	1,872	1,028	1,046	1,255	2,239	2,662	2,225	1,208	1,332	2,116	22,148	17,564	126	18,182	122
金額	82,495	87,942	73,278	54,686	55,878	60,059	82,456	92,616	83,083	58,916	63,412	80,341	875,162	(前年維持)		735,282	119
昨年使用実績	1,791	1,559	1,177	1,043	1,002	1,162	1,726	1,787	2,433	1,502	1,314	1,686	18,182				
昨年金額実績	65,378	60,913	54,904	51,661	51,445	53,892	65,346	66,352	81,349	60,396	58,227	65,419	735,282				
ガソリン(ℓ)	106	50	64	26	25	31	49	36	44	41	36	31	503	602	84	576	87
金額	15,819	7,369	9,912	3,991	3,852	4,671	7,452	0	7,012	6,165	5,385	4,532	76,160	(2%削減)		77,801	98
昨年使用実績	75	31	40	17	15	53	82	140	21	16	66	20	576				
昨年金額実績	9,190	3,729	4,916	2,228	2,050	7,096	11,117	19,835	2,942	2,238	9,470	2,990	77,801				
軽油(ℓ)	1,819	2,306	2,744	2,780	1,840	2,268	2,485	2,445	2,270	2,039	2,126	2,236	27,358	37,927	72	38,701	71
金額	180,901	228,815	289,685	295,478	194,689	232,936	265,494	260,369	233,223	208,970	217,966	226,486	2,835,012	(2%削減)		3,085,295	92
昨年使用実績	1,992	1,902	3,022	2,379	1,969	2,316	2,030	1,882	2,410	1,790	1,978	1,709	25,379				
昨年金額実績	139,923	135,799	224,856	189,338	165,149	196,158	176,805	169,720	218,295	162,017	188,121	170,892	2,137,073				
水道(m)		22		16	14			15				15	98	96	102	92	107
金額		9,308		7,966		7,772		7,869		7,966		7,869	48,750	(前年維持)		47,903	102
昨年使用実績		19		12		18		16		12		15	92				
昨年金額実績		8,553		7,579		8,357		7,966		7,579		7,869	47,903				
LPG(m)	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	1	1	120	1	240
金額	2,192	2,192	2,128	2,064	2,064	2,000	2,000	2,066	2,000	2,000	2,000	2,066	24,772	(前年維持)		24,305	102
昨年使用実績	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1				
昨年金額実績	2,000	2,061	2,061	2,000	2,061	2,000	2,061	2,061	2,000	2,000	2,000	2,000	24,305				
灯油(ℓ)	40	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	100	40	250	74	135
金額	4,800	2,400										4,680	11,880	(前年維持)		6,340	187
昨年使用実績			18									56	74				
昨年金額実績			1,728									4,612	6,340				

*排出係数：0.392 (九州電力 R3年メニュー-B)

2022年度	取組んだ内容 及び 評価		次年度以降の目標					排出係数：0.392		次年度取組内容	
	取組んだ内容	評価	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
電気	効率の良い電気使用	人がいない状態での点灯は控えている	17,500	17,000	16,000					効率の良い電気利用 無駄な電気使用減	
ガソリン	社有車のエコ運転	行動計画による無駄な行動を避ける	500	480	460					行動計画による、無駄な出張減 エコ運転の実施	
軽油	社有車、リフトのエコ運転	トラックでの出張の増加 定期点検の実施	25,000	24,500	24,000					行動計画による、無駄な出張減 エコ運転の実施	
水道	効率の良い水道利用	美濃の増加に伴う機械を洗う機械が増えた。	90	85	80					洗車時の無駄水をなくす	
LPG	使用減	ガス利用の減	1	1	1					ガスの利用減	
灯油	冬場の温度管理に必要は時のみ使用	朝、夕温度管理による使用のため	70	65	60					時間帯による使用 温度管理による使用	

(15) 代表者による全体の評価と見直し・指示

2022 年も収束の見えないコロナ禍でありましたが、それでも社会活動や経済活動を止めないための様々な試行錯誤が続いた年でありました。このような中、社業である農業用作業機の開発においては低燃費製品の開発を通して作業時間の短縮・CO₂排出削減をすすめ、環境保全型農業を支援する製品の発売に結び付け貢献を行ってきました。

また、生産活動では、導入後 30 年以上経過した塗装設備も老朽化が進んだため、2020 年より建設を進めてきた新塗装工場が仮稼働を始めました。塗装品質の向上を目指しながら塗料も特定化学物質を含まない塗料・溶剤を採用して環境負荷を減らす生産に取り組んでいます。また、新工場では塗料を変えることで焼き付け温度が下がり LPG の使用量削減にもつながっていることは評価しております。来年度は工場内の電灯の LED 化をすすめ、脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の少ない工場・生産環境を整えていくことに取り組んでいきたいと考えております。

近年顕著にみられる、夏の猛暑、冬の厳寒といった極端な気候は、社員の健康管理のうえでの冷房や暖房使用における灯油・LPG・電力使用量の増加につながっています。更に工場建設に伴い工場内に冷風が吹き込んでしまうことへの対策のため冬場の灯油使用量は例年にも増して多いという結果が見られました。工場完成により改善は期待できますが、エコアクション 21 認証取得から 17 年経過した今、改めて省資源に対して再度見直しを行い、全社員が目標達成に向け地道に環境活動を継続する予定です。